

A. 該当するケース

第二次世界大戦前又は戦中にフィリピンに渡航した日本人の子で、終戦時にフィリピンに滞在していた方（日系2世）及びその子孫並びにそれらの方々の配偶者

B. 提出書類（各書類の詳細は、https://www.ph.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00898.html）

※は当館 HP でダウンロード可

（１）在留資格認定証明書を取得済みの場合

- ① パスポート（要署名）
- ② パスポート写し（身分事項ページのみ）
- ③ 査証申請書※（4.5×3.5cm の顔写真貼付）
- ④ 1 世又は 2 世の戸籍謄本（発行から 6 か月以内のもの）
- ⑤ 出生証明書（PSA で 1 年以内に発行されたもの）
【併せて提出する書類】
 - ・印刷不鮮明等で記載事項が読み取れない→市町村役場発行の出生証明書
 - ・遅延登録→洗礼証明書及び小学校又は高校の学校成績表（フィリピン教育省：指定様式 137）
 - ・PSA に出生記録がない→市町村役場発行の出生証明書と PSA 発行の出生記録不存在証明書
- ⑥ 婚姻証明書（既婚者のみ。PSA で 1 年以内に発行されたもの）
【併せて提出する書類】
 - ・印刷不鮮明等で記載事項が読み取れない→市町村役場発行の出生証明書
 - ・PSA に婚姻記録がない→市町村役場発行の婚姻証明書と PSA 発行の無婚姻証明書
- ⑦ 委任状（PSA への照会用）
- ⑧ ファミリー・ツリー（家系図）※
 - ・存命中であるか否かを問わず、1 世から現在に至るまでの子孫全員を記載
- ⑨ 新旧の家族写真
 - ・切り貼り不可。親、兄弟姉妹及び子等の親族と一緒に写っているもの。
- ⑩ 挙式時の写真（既婚者のみ）
- ⑪ 在留資格認定証明書（写しのみで可）
※ 電子在留資格認定証明書（出入国在留管理局からメールで送信される在留資格認定証明書）の場合、送信されたメールを印刷して提出

（２）在留資格認定証明書を未取得の場合（→上記（１）に加え、以下の書類が必要）

- ① 洗礼証明書
- ② 小学校又は高校の学校成績表（フィリピン教育省：指定様式 137）
- ③ フィリピン国家警察（PNP）発行の無犯罪証明書（PNP DI Clearance）
- ④ フィリピン国家捜査局（NBI）発行の無犯罪証明書（NBI Clearance）

〔申請人自身が日本で就労して生計を立てる場合〕

- ⑤ 日本企業との雇用契約書、雇用予定証明書等

〔日本に在留する親族の扶養を受ける場合〕

- ⑥ 身元保証書※

⑦ 身元保証人の住民票

☞ 世帯全員分、かつ、記載事項の省略のないもの（ただし、個人番号と住民票コードの記載のないもの）

【併せて提出する書類】

- ・身元保証人又はその配偶者が日本人→戸籍謄本
- ・身元保証人が外国籍→在留カード又は特別永住者証明書の写し（両面）

⑧ 扶養者の在職証明書

⑨ 扶養者の所得（課税）証明書及び納税証明書

- ・納税証明書に総所得金額が記載されている場合、所得証明書は不要

（３）在留資格認定証明書を未取得で、かつ、同じ２世の家系に査証発給を受けた者がいない場合（→上記（１）及び（２）に加え、以下の書類が必要）

① １世及び２世に関する経歴陳述書及びその日本語訳文

② 出生証明書（１世の配偶者、２世及び２世の配偶者のもの）

- ・上記（１）⑤参照

③ 婚姻証明書（１世及び２世のもの）

- ・上記（１）⑥参照

④ 死亡証明書（１世又は２世が逝去している場合）

【併せて提出する書類】

- ・印刷不鮮明等で記載事項が読み取れない→市町村役場発行の死亡証明書
- ・PSA に死亡記録がない→市町村役場発行の死亡証明書と PSA 発行の死亡記録不存在証明書

⑤ １世、２世及びその子孫らの家族写真

- ・切り貼り不可。親、兄弟姉妹及び子等の親族と一緒に写っているもの。

〔以下⑥～⑧は可能な限り提出。２世が既に戸籍に登載されている場合は不要〕

⑥ １世のフィリピン移住が確認できる書類

- ・１世の挙式時の写真、旅券等（１世の戸籍謄本上に移住を示す記載があれば不要）

⑦ ２世の子孫と在日親族との関係を示す書類

- ・在日親族（１世の親族又は戦後帰国した１世又は２世の子孫）からの手紙等
- ・在日親族がフィリピンを訪問した際の写真等

⑧ その他、１世とその子孫の関係を示す書類

C. 申請方法

（１）代理申請

在留資格認定証明書を提示せずに査証申請を行う場合は、必ずJVACを通じて申請してください。

（２）個人による直接申請

在留資格認定証明書を所持している場合に限り、申請人本人が直接当館にて査証申請を行うことができます。また、同証明書を所持している場合でも、JVACを通じて申請することが可能です。

D. その他の留意事項

（１）審査に時間を要する場合がありますため、十分な時間的余裕をもって申請してください。

（２）申請時に在留資格認定証明書を所持していない場合（上記B（２）又は（３）の場合）、申請書類一式を大きな封筒に入れ、封をせずに提出してください。

（３）原則として、提出された書類は返却できません。ただし、再発行が不可能又は困

難な書類（1 世の旅券、手紙等）について返却を希望する場合、原本と共に鮮明なコピーを添付し、当該書類を返却希望である旨の文書を併せて提出してください。

- （４） 上記 B の書類のうち、何らかの理由により提出できない書類がある場合は、その理由を記載した書面（様式自由）を提出してください。
- （５） 審査の必要上、当館から上記 B 以外の書類の追加提出を求めることがあります。追加提出の案内から 3 か月以内に提出がなされないときは、審査を終止し、旅券を返却します。
- （６） 申請者に対し、当館職員が面接を行う場合があります。その場合、当館から JVAC 又は申請人本人に連絡し、日時を決定します。また、申請人以外の方についても面接を行う場合がありますので、その際は当館職員の案内に従ってください。